

日韓の縁 静岡から

静岡県と韓国は歴史的に深いつながりがある。江戸時代最初の朝鮮通信使を徳川家康が歓待し、日本と朝鮮の関係修復に道筋をつけた場所が今の静岡市だった。現在、富士山静岡空港からソウル便が飛び、静岡県と韓国・忠清南道(チョンチョンナムド)は2013年に友好協定も締結。日韓国交正常化50周年の節目の年に、川勝平太・静岡県知事と柳興洙(ユファンス)・駐日韓国大使が、国家間の関係にとらわれない地方主体の日韓交流について、富士山を臨む日本平ホテルで語り合った。

(この対談は、平成27年3月28日付毎日新聞朝刊に掲載された記事・写真の転載です。)

静岡県と韓国には不思議な縁がありますね。

知事 朝鮮半島では660年に百濟が唐・新羅の連合軍に降伏しました。日本は百濟再興のため援軍を送りましたが、663年に白村江の戦いで敗退しました。その援軍の主力部隊が静岡出身者だったようです。

大使には、さきほど朝鮮通信使を歓待した清見寺にもお立ち寄りいたきました。1607年に朝鮮から派遣された正使の呂祐吉(ヨウギル)が470人あまりを引き連れて立ち寄ったゆかりの地で、その後に駿府で徳川家康公と会見しました。400年以上にわたる友好の歴史を見つづけてきた大切な所です。

柳氏 初めて清見寺を訪れ少し恥

ずかしく感じました。自分は日本をわりと良く知っていると思っていたのも清見寺には来たことがなかった。私としては本当に遅かったなと思いました。これほどの歴史の場所、歴史の現場なのに。

知事 会見の日は、当時の朝鮮で使われていた暦で6月20日であつたことが分かっています。

柳氏 約400年になりますね。清見寺には、その後の朝鮮通信使の一員が揮毫(きごう)した「瓊瑤(けいよう)世界」という扁額(へんがく)が残されていました。「瓊」も「瑤」も玉のことですから、一つは韓国、一つは日本という意味でしょう。

柳氏 まさに、そういうことです。

つの世界と言ふこともできるし、二つが世界を照らすという意味でもあります。400年前の時代に我々の先輩、祖先が二つの国の重要性を考えながら、こういうことを書いて友好関係を作ろうとしていました。それと思うと、今の日韓・韓日関係がちょうどこじれているのは、恥ずかしいものではないかな、と思いま

した。豊臣秀吉は文禄・慶長の役(1592~1598年)で朝鮮半島を侵略しました。当時の朝鮮王国では、日本人とは同じ天を仰げない、というくらい反日感情が強かつた。一方、家康公は、戦国武将でしたが、若いころからよく勉強する人物が、朝鮮半島には渡らなかつた。

柳氏 そう。平和を大事にしたんが、最初、朝鮮ではちょっと信じていなかつたんです。文禄・慶長の役があつたばかりですからね。また戦争を起こすのではないかと、交渉が日本に来て、徳川家康に会つてみたところ、どうも信頼できるという報告をした。それで朝鮮通信使がまべ、大いに歓待しました。

知事 そうですね。幕府を樹立し、朝鮮に対して、捕虜を交換したいといふ人道的な提案をしました。それを受けた朝鮮国王の「日本との交渉に臨む」という決断は、清水の舞台から飛び降りるほどの大決断だったと思います。家康公は呂祐吉使節一行を清見寺に迎え、駿河湾に船を浮かべ、大いに歓待しました。

柳氏 最初、朝鮮ではちょっと信じていなかつたんです。文禄・慶長の役があつたばかりですからね。また戦争を起こすのではないかと、交渉が日本に来て、徳川家康に会つてみたところ、どうも信頼できるという報告をした。それで朝鮮通信使がまた来るようになつたんですね。



柳興洙氏
駐日韓国大使

忠清南道出身。幼少期を京都で過ごす。警察官僚を経て官選の忠清南道知事に。その後、国會議員に転身し計4期務めた。韓日議員連盟幹事長や韓日親善協会理事長などを歴任。2010年、旭日中綬章を受章。77歳。

清見寺

静岡市清水区にある臨済宗妙心寺派の寺院。江戸時代、朝鮮通信使が宿泊したり休憩したりした。寺では彼らが詠んだ漢詩を板に刻み、当時から拜観者に展示。住職と通信使の筆談録なども残る。1643年に揮毫(きごう)された「瓊瑤(けいよう)世界」の扁額(へんがく)は、鐘楼(現在修理中)に掲げられた。寺には琉球の使節も立ち寄った。

通信使が行き來した時代は、平和そのものでした。韓国と日本の関係を2000年と考えると、文禄・慶長の役の6年と、最近の35年間の日本による支配、それが歴史に残る不幸な時期で、それ以外はいい関係だったのでないでしょうか。

だから、あの徳川家康の平和に対する考え方を学ぶべきでしょう。朝鮮通信使という交流の形から、今でも私たちは学ぶべきじゃないかと本当に考えております。

知事 朝鮮の人々が文禄・慶長の役で受けたいやしがたい恨みを克服しようという勇気と寛容の精神。これは両国民にとって極めて大切だと思います。清見寺はそれを思い出される所であり、大使には何としてでもお越し頂きたいと思っていました。

柳氏 韓日首脳会談の実現が、一番

重視しておられます。

50年を迎えます。

どのようなことを

柳氏 6月に日韓国交正常化

50年を迎えます。

重視しておられます。

私はきょう、朝鮮通信使が訪れた清見寺、平和を好んだ徳川家康がまつられている久能山東照宮を訪ねました。また、こんなに素晴らしい姿の富士山の靈氣。何かいいことがある予感がします。

知事 数百年、いや、千年単位の歴史の中で東アジアを考えれば、今よりも大きな視点、寛容の精神を持ちえます。互いの歴史と文化を謙虚に学び、いがみ合うより、励まし合う姿勢が、生まれてほしいと思います。

柳氏 首脳会談の場所はどちらのほうがいいかもしませんね。静岡、ここはいいですね。冬でもこんなに暖かいと思っていました。日韓関係はちょっと厳しい時期にあります

が、私はきょう、朝鮮通信使が訪れた清見寺、平和を好んだ徳川家康がまつられている久能山東照宮を訪ねました。また、こんなに素晴らしい姿の富士山の靈氣。何かいいことがある予感がします。

知事 家康公は幕府を開いた後、すぐに將軍職を息子に譲つて静岡に来られた。暖かいから、食べるものがおいしく、何より靈峰を仰げる景色がいいから、ということで晩年をここで過ごされました。

柳氏 私が韓国に帰つたら、静岡の大変になります。本当によ、これ。(笑)

はるか昔から静岡発の外交が続いてきたわけですね。

知事 2年前に静岡県は忠清南道

と友好協定を結びました。今年は、忠清北道と友好関係にある山梨県と共に、日韓の4県道が連携した交流事業を進めようと考えています。

忠清南道の一部だった地域に世宗特別市ができ、そこにソウル一極集中を克服するため首都機能の一部を移転しましたね。課題があるのは存じておりますが、日本も地方創生のために、韓国のこうした先駆的取り組みを学びたいと思っています。

柳氏 そうした交流で大使館が役立つことがあれば、いつでも声をかけてください。

08